

第50回日独スポーツ少年団同時交流in宇美町 次は君たちがドイツに行く番だよ！

今年で50回目を迎えた日独スポーツ少年団同時交流では、8月5～8日の日程でノルトライン・ヴェストファーレン州から6人のドイツ団が宇美町を訪れました。

台風の影響で1日前倒しとなりましたが、リーダー会のメンバーとホストファミリーを中心に素敵な交流を行いました。

次は君たちがドイツに行く番だよ。



宇美太鼓との素敵な和太鼓交流



長崎県島原市からフェリーで熊本港にやってきたドイツ団を、九州を代表する雄大な自然と大地の力を感じてもらいたくて、阿蘇山の草千里と中岳火口見学に連れていきました。



今回の交流は素敵なホストファミリーに恵まれ、ウエルカムレセプションではビンゴゲームなどで大いに盛り上がりました。残り二日間の交流がとても楽しみです。

日独交流2日目は宇美太鼓のご協力で和太鼓体験を行いました。思いきり叩いて最後は一曲演奏できるようになりました。また、宇美町弓道部のご協力で弓道体験を行い日本武道の神髄に触れることができました。



宇美町スポーツ少年団では豊かな国際交流をととして青少年を国際人に育てています。



歴史民俗資料館で勾玉づくり体験

宇美八幡宮では「日本一の楠の森」のパワーを感じました



3日目は宇美町長の表敬訪問を行い、町長も有意義な議論ができた喜んでいました。また、宇美町リーダー会と「スポーツとSDGs」というテーマでのテーマディスカッションを行いました。

宇美町リーダー会からは「全体奉仕活動」と「アクティブ・チャイルド・プログラム」の取組を発表し、ドイツ団も身近に考えるSDGsをテーマに、クイズ形式で楽しくSDGsを考えました。



日独交流のだいご味はやっぱホストファミリー交流やね

日独交流では多くの体験プログラムを準備していますが、その中でもホストファミリーとの交流が一番大切にしています。

今回も6つの家族がホストファミリーとして協力してくれました。次回もぜひご協力いただきたいと思えます。

ホストファミリーの手厚い「おもてなし」にドイツ団も大満足だったようです。



12年ぶりの日独交流は大成功！来年以降はリーダーをドイツに派遣する計画です。